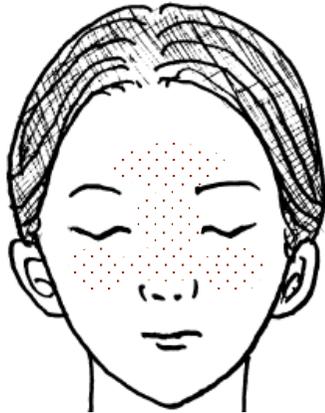


P (そばかす)



小児期から発症し、思春期にひどくなる。色白の人の鼻、頬、額を中心に、腕や背中など、日光を浴びる部分に出やすい。色は淡褐色～濃褐色で、数mm程度の小さな斑で、5mmを超えることはほとんどない。

Q (真皮メラノサイトーシス)



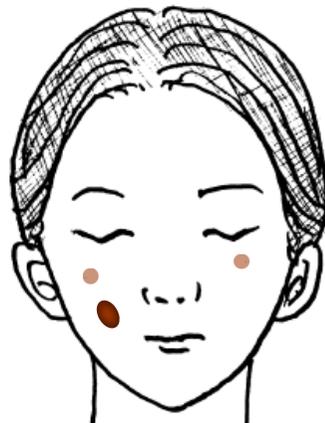
13歳以上(多くは20歳以上)に発症する。頬骨部、下まぶた、鼻の付け根、鼻の横、こめかみから上まぶたの外側、額の外側に出やすい。色は灰色～灰褐色～褐色～濃褐色。顔の両側に左右対称に広がることが多い。

R (肝斑)



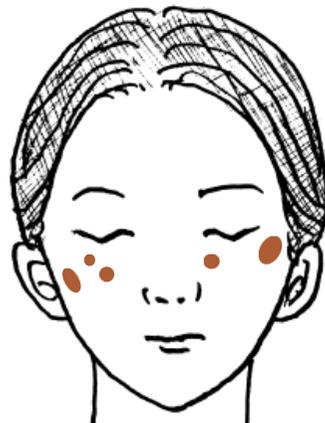
30～40代の女性に多い。妊娠などのホルモン変化で発症することも。顔面、特に額や、頬骨、口の周りに、茶褐色の境界のはっきりしたシミが左右対称にもやっと広がる。夏場に濃くなる。

S (炎症後色素沈着)



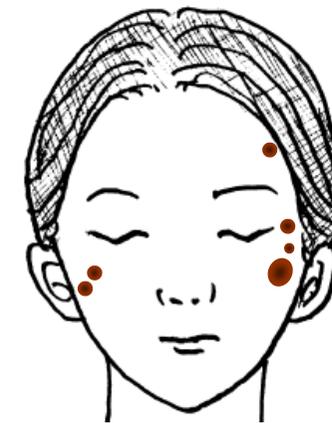
やけど、虫さされ、にきび、かぶれ、日焼けなどで赤くなった後におきるシミ。色は紫褐色～紫灰色で形は様々。

T (日光性黒子)



大人になってから発症する。頬、こめかみ、手の甲、腕、背中など、日光を浴びる部分に出ることが多い。色は淡褐色～濃褐色。大きさはさまざま。境目ははっきり。

U (脂漏性角化症)



大人になってから発症する。頬、こめかみ、手の甲、腕、背中など、日光を浴びる部分に出ることが多く、表面が盛り上がっている。Tの中に混ざっていることもある。色は皮膚に近い色～黒色まで様々。境目ははっきり。